

令和3年度 第2回奈良市特定給食施設等研修会報告書

日 時	令和4年2月18日（金）午後2時～午後4時30分
場 所	zoomによるオンライン開催
事業名	令和3年度 第2回奈良市特定給食施設等研修会
主 催	奈良市健康医療部保健所保健衛生課
目 的	地域の医療、施設、在宅などで利用者が入退院や施設を移動する際に、栄養や食事形態に関する情報を提供することは、利用者の栄養改善や安全な食の提供のみならず、利用者の生活の質を低下させないことに役立つ。地域の栄養管理担当者が必要な情報を共有し、意見交換することにより地域連携を深めるとともに、切れ目のない栄養・食支援の実践を目的とする。
対 象	奈良市内特定給食施設等（病院、介護医療院、介護老人保健施設、老人福祉施設）のうち1日3食を提供する施設の栄養管理担当者、地域活動栄養士
参加者	施設管理栄養士・栄養士45名、地域活動栄養士1名 合計46名
参加率	参加率：62%（詳細は参加施設内訳参照） 内訳：管理栄養士・栄養士 100%
内 容	<p>講演「医療、福祉、在宅における食の地域連携について ～新しい嚥下調整食分類2021、法改正、近隣の取組状況など最近の話題から～」 講師 畿央大学 健康科学部健康栄養学科 准教授 熊本 登司子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養サマリーのフォーマット、食事形態一覧スタンダード表 第5番をデータ提供いただいた。特に様式がないところ等で使っていただくとよい。 ・研修で講師が示した様式は、平成30年3月5日付け保医発0305第1号「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」における別紙様式50「看護及び栄養管理等に関する情報」の必要な項目も入っている。施設で使いやすいようにアレンジは可能だが、国が示している必要な項目を削除しない方がよい。また、国は様式例を示しているが、統一するようにはしていない。 ・栄養管理情報提供書を受け取ったら、どんな形でも一言お礼をリアクションするとよい。 ・栄養管理情報提供書の窓口は地域連携室など一本化しておくことが望ましい。 ・顔の見える関係も大切だが、まずは書面でやり取りをすることが大切。 ・全国において、県全体で栄養情報の提供に関する共通認識をもっているところはまだない。奈良県内で今後共通認識をもって取り組んでいけるとよい。 ・栄養管理情報提供書を電子カルテで作成している場合は、必要な項目をあらかじめ入れておくとよい。 <p>質疑応答・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院としては、施設の方にエネルギーの情報をいれてほしい。 ・栄養サマリーの作成について、病院によっては依頼に応じて作成しているところと、依頼がなくても作成しているところがある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時カンファレンスをお願いするときは、病院のどこに言えばよいか。 <p>→MSW に伝え、事前アポをとれば対応できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の食形態一覧を見てみたい。 <p>→保健所で施設の食形態一覧表を集め、厚生労働省「様式 50」とあわせてメールで共有する。</p>
評価 及び結果	<p>評価方法</p> <p>I. 対象とする施設の参加率 62%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前より施設から受講希望のあった内容であり、参加率は比較的よかった。 ・一部で研修が重なり施設のパソコンを使えなかった方、申込したが業務で受講できなかった方、ネット環境がなく受講できない施設もあった。 <p>II. 事前事後アンケート結果の詳細 別紙（回収率：61%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果より、本研修は地域連携に役立つ内容であった。 ・地域連携に詳しい講師の説明により、各施設の不明点や課題が整理され、課題解決のきっかけとなった。 ・栄養情報の提供を通じた地域連携に関する最新情報を得ている施設は、実施前 14% から実施後約 93%に増加した。 ・他施設の栄養管理情報提供書や施設の取組や課題を事前に集めて共有したことや普段集まることができない施設の情報を得たことで約 93%の施設が参考になったと答えた。 ・今後の開催方法の希望について、オンラインが 78%、感染状況など除法に応じたオンライン開催が 18%、オンライン開催を希望しないが 4%であった。
今後について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の施設間移動はコロナ禍であっても止まることなく、高齢化が進むなか、地域連携の重要性は増している。今後も食の地域連携の継続が必要である。 ・今後の研修形態について、今後もオンライン開催を希望する施設が最多であったが、状況に応じた開催を希望する施設や希望しないと答えた施設もあった。オンライン開催を希望しない理由では、栄養士の人数が少なく研修中に呼ばれると参加できないという理由があった。 ・保健所として、今後も食の地域連携や市民の栄養改善に資する情報発信に努める。

参加施設内訳

施設種	対象施設数	参加施設数	参加率 (%)
病院・診療所	22	16	73
介護医療院	1	1	100
介護老人保健施設	11	9	82
老人福祉施設	40	20	50
合計 / 平均	74	46	62